

## 福祉・介護人材の参入・定着にかかる各種データ

# 奈良県の介護人材確保の実績と将来推計

## ○介護人材確保の実績と将来推計

【単位：人】

	実績			推計					
	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和8年度 (2026)		令和22年度 (2040)		令和32年度 (2050)	
				需要推計	供給推計	需要推計	供給推計	需要推計	供給推計
介護職員	25,072 (19,060)	26,283 (20,356)	26,840 (20,193)	30,907 (23,142)	25,635 (18,770)	33,649 (25,202)	21,191 (15,467)	30,860 (23,127)	17,753 (12,945)
訪問介護員以外	17,443 (14,330)	18,179 (15,137)	18,454 (15,028)	20,931 (17,030)	—	23,000 (18,689)	—	21,087 (17,149)	—
介護福祉士	7,574 (6,615)	7,992 (6,972)	8,614 (7,325)	9,638 (8,137)	—	10,717 (9,086)	—	9,824 (8,339)	—
訪問介護員	7,929 (4,730)	8,104 (5,219)	8,386 (5,165)	9,976 (6,112)	—	10,649 (6,513)	—	9,772 (5,978)	—
介護福祉士	2,993 (1,770)	3,195 (1,856)	3,373 (1,986)	4,106 (2,404)	—	4,400 (2,574)	—	4,040 (2,364)	—

出典) 令和2年度～令和4年度は、介護サービス施設・事業所調査

令和8年度～令和32年度は、下記の方法により推計（供給推計は合計人数のみ推計）

( )内は常勤換算による数値

(参考)

### ○需要推計の方法

$$\boxed{\text{各年度の需要人数}} = \boxed{\text{当該年度の介護サービス等の利用見込人数}} \times \boxed{\text{サービス受給者100人あたりの介護職員等配置率(※1、2)}}$$

- ※1 常勤換算による数値は、「サービス受給者100人あたりの介護職員等常勤換算配置率」を掛けて算出
- ※2 令和4年介護サービス施設・事業所調査における介護職員等数及び令和4年度介護給付費等実態調査報告におけるサービス受給者数を基に算出した配置率を適用

### ○供給推計の方法

#### 【実人数】

$$\boxed{\text{各年度の供給人数(実人数)}} = \boxed{\text{前年の介護職員数}} - \boxed{\text{離職者数(※1)}} + \boxed{\text{離職者のうち介護分野への再就職者数(※2)}} + \boxed{\text{入職者数(※3)}}$$

- ※1 介護労働実態調査(介護労働安定センター)における過去5年間(平成30年～令和4年)の離職率の平均値を前年の介護職員数に掛けて算出
- ※2 介護労働実態調査(介護労働安定センター)における「入職した介護職員のうち、前職が介護職の割合(介護分野内の転職)」の過去5年間(平成30年～令和4年)の平均値を当該年の離職者数に掛けて算出
- ※3 最新年度の入職者数に、生産年齢人口減少率を掛けて算出
- ※4 過去5年間の平均値

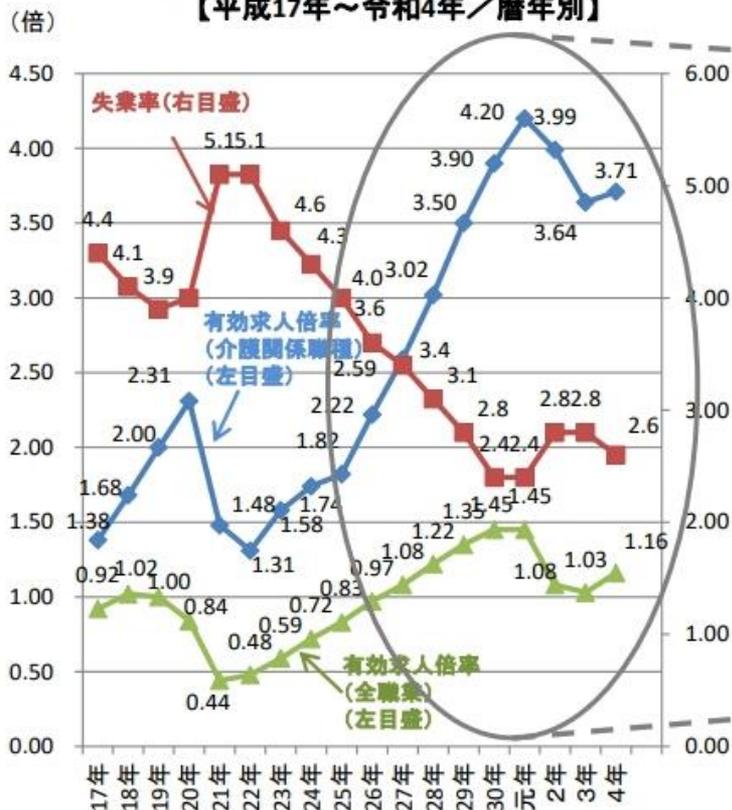
#### 【常勤換算】

$$\boxed{\text{各年度の供給人数(常勤換算)}} = \boxed{\text{各年度の供給人数(実人数)}} \times \boxed{\text{常勤換算率(※4)}}$$

# 福祉・介護人材の状況

○ 介護関係職種の有効求人倍率は、依然として高い水準にあり、全職業より高い水準で推移している。

有効求人倍率(介護関係職種)と失業率  
【平成17年～令和4年／暦年別】



有効求人倍率(介護関係職種)(原数値)と失業率(季節調整値)  
【平成26年3月～令和5年4月／月別】



注)平成23年度の失業率は東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県において調査の実施が困難な状況となっており、当該3県を除く結果となっている。

【出典】厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省「労働力調査」

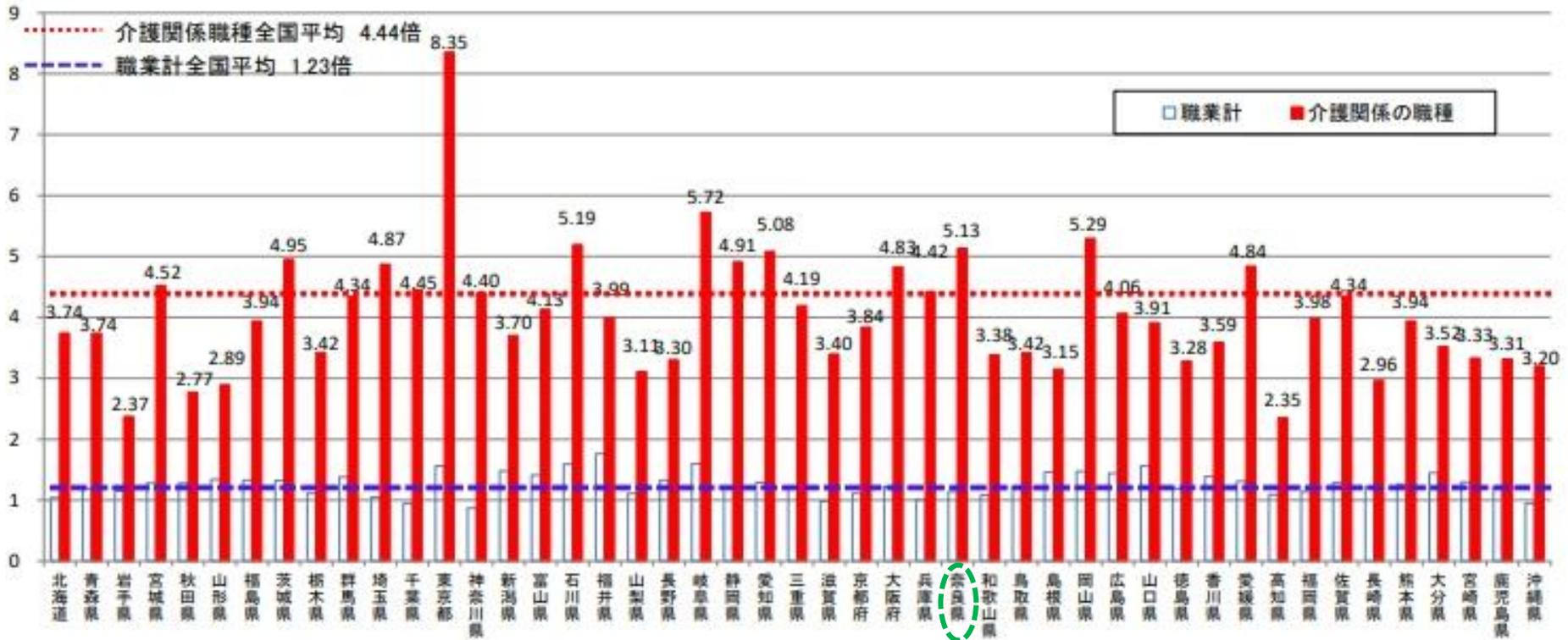
(※1)全職業及び介護関係職種の有効求人倍率はパートタイムを含む常用の原数値。

月別の失業率は季節調整値。

(※2)常用とは、雇用契約において、雇用期間の定めがない、又は4か月以上の雇用期間が定められているものをいう。

出典:厚生労働省 老健局

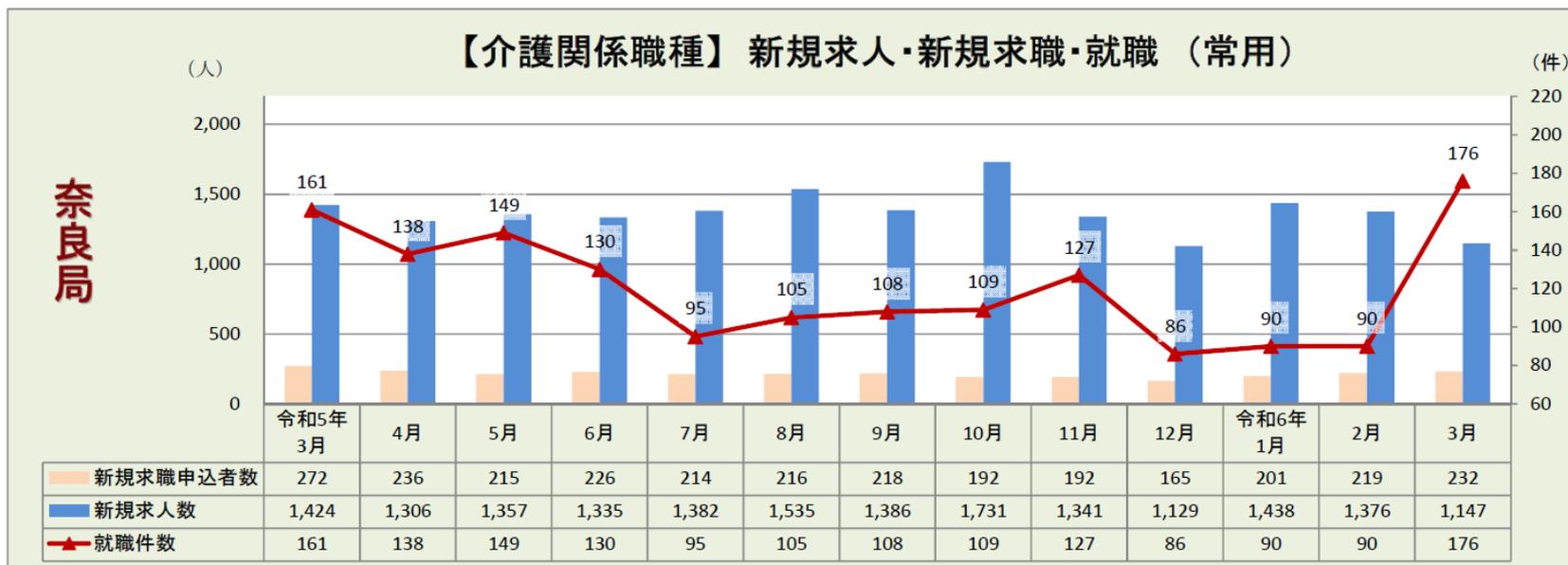
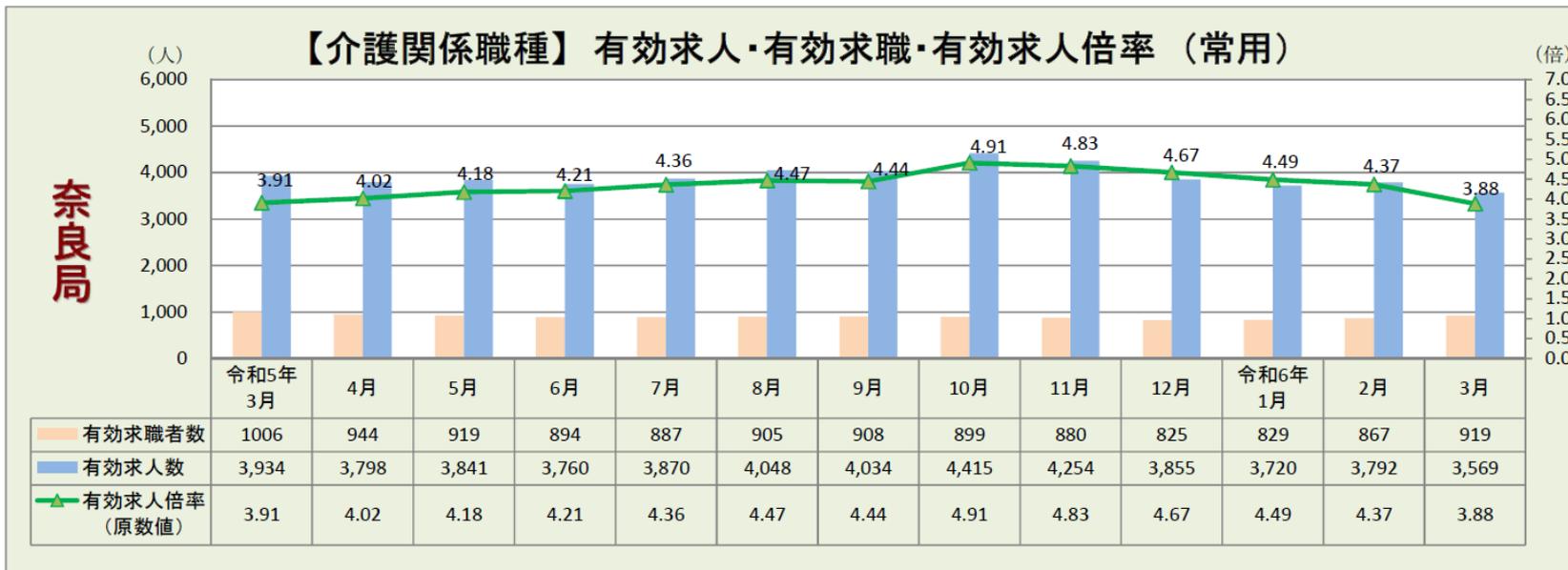
# 都道府県別有効求人倍率（令和5年12月）



(資料出所) 厚生労働省「職業安定業務統計」 (注) 介護関連職種は、ホームヘルパー、介護支援専門員、介護福祉士等のこと。

- ▶ 奈良県の令和5年12月の有効求人倍率は5.13倍で、全国平均の4.44倍と比較して高い水準である。これは、近隣県の京都府、大阪府、和歌山県と比較しても高く、さらなる人材の充足が必要と考えられる。

# 奈良県における有効求人倍率・新規求人数等の推移 (R5.3～R6.3)



※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれる。

福祉・介護の専門的職業、社会福祉施設管理者、家政婦(夫)・家事手伝い、施設介護の職業、訪問介護の職業

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

人材の確保・定着の状況

(1) 1年間の全体、および各職種の採用率、離職率、増減率

※1年間：2022年10月1日から2023年9月30日まで

◆全国での2職種（訪問介護員／介護職員）の採用率は16.9%、離職率は13.1%

< 全国 >

		(件、%)			
		回答事業所数	採用率	離職率	(差) 採用率 － 離職率
職種別	2職種計(訪問介護員／介護職員)	7,266	16.9	13.1	+3.8
	訪問介護員	2,605	16.8	11.8	+5.0
	介護職員	5,485	16.9	13.6	+3.3
	サービス提供責任者	3,179	6.0	7.1	-1.0
	生活相談員	3,492	6.9	8.1	-1.3
	看護職員	4,504	19.6	15.3	+4.3
	PT・OT・ST等	1,861	13.0	9.4	+3.6
	介護支援専門員	3,623	10.4	10.0	+0.5

< 奈良県 >

		(件、%)			
		回答事業所数	採用率	離職率	(差) 採用率 － 離職率
		83	17.5	10.7	+6.8
		*33	14.5	6.3	+8.3
		67	18.3	11.8	+6.5
		*37	7.6	6.1	+1.5
		*38	6.2	4.9	+1.2
		54	13.5	10.8	+2.7
		*21	11.7	6.4	+5.3
		51	20.9	16.0	+4.9

(注1)2職種計の回答事業所数については、訪問介護員、介護職員の両者に回答があってもひとつの事業所数とカウントするので、職種別の項目の合計と一致しない

(注2)採用率、離職率等の計算式は、18ページ「1調査で使用された主な用語の定義(4)」を参照

(4) 採用率、離職率は下記の式による

$$1年間の採用率 = \frac{2023年度採用者数^{(注1)}}{2022年9月30日の在籍者数^{(注2)}} \times 100$$

$$1年間の離職率 = \frac{2023年度離職者数^{(注1)}}{2022年9月30日の在籍者数^{(注2)}} \times 100$$

$$1年間の増加率 = \frac{2023年度(採用者数－離職者数)^{(注1)}}{2022年9月30日の在籍者数^{(注2)}} \times 100$$

(注1) 2023年度とは、2022年10月1日から2023年9月30日までをいう

(注2) 在籍者数：採用者数・離職者数について回答のあった事業所の在籍者数

出典：公益財団法人 介護労働安定センター  
令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

## 従業員の過不足の状況

### (1) 従業員全体、および職種毎の過不足状況

◆ 全国では、全体的で見て「適当」が35.0%で最も多いが「不足感」は64.7%に上る

	回答事業所数	事業所数	① 大いに不足	② 不足	③ やや不足	④ 適当	⑤ 過剰	(①+②+③) 不足感
全体でみた場合	8,990	7,235	12.1	21.9	30.7	<b>35.0</b>	0.3	64.7
訪問介護員	8,990	2,588	31.3	28.4	21.7	18.5	0.1	81.4
介護職員	8,990	5,354	13.0	21.7	31.2	33.1	0.9	66.0
サービス提供責任者	8,990	2,227	5.2	8.6	13.2	72.2	0.8	27.0
生活相談員	8,990	3,132	1.8	5.4	15.3	76.9	0.6	22.4
看護職員	8,990	4,072	5.2	11.1	22.5	59.1	2.2	38.7
PT・OT・ST等	8,990	1,816	3.1	7.3	18.6	69.5	1.5	29.0
介護支援専門員	8,990	3,129	5.9	9.2	17.2	66.9	0.8	32.3

事業所数	① 大いに不足	② 不足	③ やや不足	④ 適当	⑤ 過剰	(①+②+③) 不足感
79	10.1	17.7	34.2	<b>38.0</b>	0.0	62.0
*34	29.4	11.8	23.5	35.3	0.0	64.7
64	12.5	17.2	37.5	31.3	1.6	67.2
*26	0.0	7.7	19.2	73.1	0.0	26.9
*36	5.6	2.8	16.7	75.0	0.0	25.1
*46	6.5	10.9	32.6	50.0	0.0	50.0
*19	5.3	10.5	26.3	52.6	5.3	42.1
*41	7.3	12.2	12.2	68.3	0.0	31.7

## 従業員の過不足の状況

### (2) 訪問介護員・介護職員の不足の影響

◆ 全国では、「各職員の時間当たりの業務負担の重さ・余裕のなさ」が36.8%で最も多い

	回答事業所数	訪問介護員等の勤務時間	各職員の業務負担の重さ・余裕のなさ	介護職員の業務負担の低下	利用者への受け入れ
全国	5,134	29.2	<b>36.8</b>	20.0	26.3
訪問系	1,464	29.8	35.2	14.5	44.5
施設系(入所型)	880	33.2	43.5	29.3	15.8
施設系(通所型)	1,429	26.0	34.6	19.2	21.3
居住系	713	31.6	36.6	22.6	8.7
居宅介護支援	87	28.7	39.1	18.4	59.8
奈良県	57	31.6	<b>35.1</b>	22.8	24.6

(注)「訪問介護員」または「介護職員」が「大いに不足」、「不足」、「やや不足」のいずれかに回答した事業所が表中の選択肢の項目に「当てはまる」とした割合。

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

## 採用活動とその評価

(1) 採用における工夫 (複数回答)

◆ 全国では「ハローワークや福祉人材センターに求人申込後、担当者に相談している」が65.2%で最も多い

(件、%)

	回答事業所数	ハローワークや福祉人材センターに求人申込後、担当者に相談している	有料職業紹介所を活用している	職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報提供を受けている	民間の有料求人情報サイトを活用している	自事業所のホームページを応募者へのアピールを主目的にした内容にしている	SNSを活用して自事業所のアピールポイントを応募者へ発信している	職場体験、職場実習の受け入れを実施している	就職セミナー、採用説明会に参加・実施している	特に行っていない
全国	8,990	<b>65.2</b>	35.4	52.5	36.2	31.9	11.5	25.3	20.8	8.8
訪問系	2,461	60.1	33.6	54.9	37.9	34.1	11.8	18.5	14.6	7.2
施設系(入所型)	1,192	82.6	56.4	59.8	41.2	46.9	14.9	54.8	53.6	1.3
施設系(通所型)	2,603	67.7	31.8	53.0	36.2	28.2	11.6	22.1	14.9	6.5
居住系	1,005	74.0	44.0	57.2	45.8	36.7	12.5	32.3	29.1	2.6
居宅介護支援	722	35.9	12.2	30.6	12.9	12.3	4.8	9.3	4.4	45.0
奈良県	107	<b>60.7</b>	35.5	45.8	30.8	33.6	11.2	23.4	15.9	16.8

## 従業員の過不足の状況

(2) 訪問介護員・介護職員の不足の影響

◆ 全国では、「人数・質ともに確保できている」は16.1%

(件、%)

	回答事業所数	人数・質ともに確保できている	人数は確保できているが、質には満足していない	質には満足だが、人数は確保できていない	人数・質ともに確保できていない	過去1年間、職員は採用していない
全国	8,990	16.1	16.5	20.0	<b>26.4</b>	18.4
訪問系	2,461	14.1	12.2	27.7	25.6	17.9
施設系(入所型)	1,192	10.0	21.5	16.4	44.4	6.2
施設系(通所型)	2,603	20.6	18.9	17.2	22.0	18.9
居住系	1,005	13.0	24.4	17.2	34.5	9.7
居宅介護支援	722	17.0	4.4	13.2	7.9	53.7
奈良県	107	14.0	14.0	16.8	<b>25.2</b>	22.4

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

## 採用活動とその評価

(3) 採用において、採用者数または採用者の質の確保が一定程度できている理由

◆ 全国では、「職場の人間関係がよいこと」が62.7%で最も多い

	回答事業所数	採用活動の工夫(前ページの内容)が効果をあげた	賃金水準が比較的高いこと	残業が少ない、有給休暇をとりやすい、シフトがきつくないこと	介護の質(注)が高いこと	仕事の魅力ややりがいがあること	職場の人間関係がよいこと	事業所・施設の設備・環境が働きやすいこと	業務改善等により業務負担の軽減を図っていること	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っていること	仕事と家庭(育児・介護)の両立の支援を充実させていること	職場内でのキャリアアップの道筋を明確化していること	能力や仕事ぶりをしっかり評価し、賃金などの処遇に反映していること	社内外で研修を受講できる機会を充実させていること	地元での評判が良いため
全国	4,731	13.0	27.6	57.3	22.2	38.3	<b>62.7</b>	33.4	11.1	47.9	22.7	30.6	31.5	15.3	
訪問系	1,328	12.0	32.3	56.3	25.8	42.5	68.5	32.1	10.8	51.1	20.9	34.9	31.9	13.3	
施設系(入所型)	571	19.1	35.4	51.0	18.7	28.0	50.1	38.2	18.4	49.6	24.9	25.0	41.3	15.1	
施設系(通所型)	1,477	13.3	23.5	61.2	21.9	41.5	64.0	32.8	8.1	48.5	21.0	29.0	27.5	18.3	
居住系	549	14.0	23.1	56.5	21.3	28.8	59.4	34.1	14.9	43.4	30.8	31.5	32.8	12.6	
居宅介護支援	250	7.2	17.6	58.0	18.8	40.8	58.4	35.6	12.4	43.6	14.0	23.6	34.4	13.6	
奈良県	*48	12.5	25.0	66.7	31.3	43.8	<b>77.1</b>	33.3	8.3	58.3	25.0	41.7	35.4	25.0	

(注)集計対象は、問10①で「人数・質ともに確保できている」「人数は確保できているが、質には満足していない」「質には満足だが、人数は確保できていない」と回答した事業所

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

現在の職種を選んだ理由（複数回答）

◆全国では、「働きがいのある仕事だと思ったから」が42.3%で最も多い

(件、%)

	回答労働者数	働きがいのある仕事だと思ったから	今後もしも仕事から離れたいから	人や社会の役に立ちたいから	生きがい・社会参加のため	お年寄りが好きだから	身近な人の介護の経験から	身近に介護関係の仕事をしている人がいるから	資格・技能が活かせるから	介護の知識や技能が身につくから	給与等の収入が多いから	よい時間（日）に働けるから	自分や家族の都合のよい時間	他によい仕事がないため	特に理由はない
全国	20,699	42.3	26.6	27.4	10.3	19.0	15.7	13.5	29.5	16.6	4.3	12.2	7.4	4.7	
訪問介護員	2,857	43.5	26.4	28.1	11.3	16.4	18.1	18.4	26.5	22.3	3.7	20.5	6.4	4.2	
介護職員	8,340	38.0	25.9	26.0	8.1	22.9	18.6	16.6	19.8	20.0	2.4	9.8	10.0	4.9	
サービス提供責任者	1,750	43.1	29.9	25.3	9.3	18.3	20.5	15.9	28.5	18.7	2.9	8.7	5.3	5.0	
生活相談員	1,205	43.3	27.6	28.8	9.7	22.9	15.5	13.8	26.1	14.6	1.4	7.1	7.1	4.8	
看護職員	2,240	60.5	32.8	33.1	16.4	17.6	7.0	6.1	52.8	6.6	16.5	16.4	3.8	1.8	
PT・OT・ST等	451	58.1	33.9	41.0	10.9	15.7	6.0	7.3	61.4	9.1	6.7	9.3	1.8	2.0	
介護支援専門員	2,418	45.5	26.3	31.8	14.0	14.1	14.1	6.6	49.0	12.5	3.9	13.9	7.6	2.4	
奈良県	255	43.5	28.2	25.1	12.9	18.0	16.5	11.0	30.2	13.3	2.7	10.6	4.7	4.7	

出典：公益財団法人 介護労働安定センター  
令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

介護関係の仕事を辞めた理由

(1) 直前職も介護関係の仕事であった介護従事者の直前職をやめた理由（複数回答）

◆全国では、「職場の人間関係に問題があったため」が34.3%で最も多い

(件、%)

事 （直前職が介護関係の仕 回 答 労働者数	解 散 ・ 事 業 不 振 等 の た め	人 員 整 理 ・ 勤 奨 退 職 ・ 法 人	他 に 良 い 仕 事 ・ 職 場 が あ っ た た め	新 し い 資 格 を 取 っ た た め	収 入 が 少 な か っ た た め	自 分 の 将 来 の 見 込 み が 立 た な か っ た た め	自 分 に 向 か な い 仕 事 だ っ た た め	職 場 の 人 間 関 係 に 問 題 が あ っ た た め	法 人 や 施 設 ・ 事 業 所 の 理 念 や 運 営 の あ り 方 に 不 満 が あ っ た た め	業 所 の 移 転 の た め	家 族 の 転 職 ・ 転 勤 ・ 又 は 事 業 所 の 移 転 の た め	定 年 ・ 雇 用 契 約 の 満 了 の た め	病 気 ・ 高 齢 の た め	結 婚 ・ 妊 娠 ・ 出 産 ・ 育 児 の た め	家 族 の 介 護 ・ 看 護 の た め
全国	7,202	6.9	19.9	7.8	16.6	13.2	4.1	<b>34.3</b>	26.3	3.3	3.0	3.1	8.2	4.5	
訪問介護員	1,048	7.0	20.6	3.7	17.4	11.7	4.6	33.7	24.8	2.7	3.2	3.2	10.6	5.8	
介護職員	2,768	6.9	18.5	3.3	18.1	12.5	4.0	35.2	24.6	3.6	3.4	3.3	8.7	4.6	
サービス提供責任者	699	8.2	24.6	5.4	19.2	18.0	4.0	34.3	29.2	4.1	1.4	1.9	6.7	2.9	
生活相談員	484	7.4	22.1	3.7	19.0	16.7	5.4	34.3	29.1	3.3	1.7	3.5	8.3	3.1	
看護職員	297	3.7	20.9	2.0	11.8	9.4	6.4	39.7	26.6	3.4	3.7	4.0	8.1	3.4	
PT・OT・ST等	69	4.3	30.4	7.2	15.9	20.3	4.3	37.7	29.0	0.0	1.4	5.8	5.8	1.4	
介護支援専門員	1,339	6.6	18.3	24.3	12.2	12.6	3.0	31.7	28.6	2.4	3.0	2.8	6.2	5.0	
奈良県	88	12.5	29.5	9.1	20.5	18.2	3.4	<b>33.0</b>	28.4	2.3	1.1	2.3	3.4	4.5	

➤ 離職理由として、職場の人間関係、法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったためが上位となっている

出典：公益財団法人 介護労働安定センター  
令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

介護関係の仕事を辞めた理由

(2) (1)の理由のうち、職場の人間関係に係る理由の詳細（複数回答）

◆全国では、「上司の思いやりのない言動、きつい指導、パワハラなどがあった」が49.3%で最も多い

(件、%)

	回答労働者数	上司の思いやりのない言動、きつい指導、パワハラなどがあった	上司の管理能力が低い、業務指示が不明確、信頼できなかつた	同僚の言動（きつい言い方・悪口・嫌み・嫌がらせなど）でストレスがあった	職場全体が仕事のこと以外で会話や交流がなく暗かつた	職場内の仲間はずれや、仲良くないグループに入つていけないうなど疎外感・孤独感を感じた	ケアの方法など仕事上の課題に関する上司や同僚との意思疎通・意見交換がうまくいかなかつた	仕事に消極的な態度の同僚がいたため一緒に仕事をしにくくなかつた	部下・後輩に対する指導が難しかつた
全国	2,472	49.3	43.2	38.8	7.6	12.3	26.6	14.7	7.2
訪問介護員	353	47.3	47.6	34.8	9.9	11.3	28.3	11.6	5.9
介護職員	975	46.8	40.6	41.3	6.7	11.8	26.2	16.7	6.9
サービス提供責任者	240	49.2	49.2	31.3	6.3	9.6	23.3	14.2	7.1
生活相談員	166	51.8	42.8	38.0	6.6	13.9	25.3	13.3	6.6
看護職員	118	46.6	35.6	34.7	8.5	11.0	28.8	15.3	5.1
PT・OT・ST等	*26	76.9	61.5	34.6	11.5	3.8	19.2	23.1	15.4
介護支援専門員	425	56.9	44.5	39.5	8.2	14.4	25.6	12.7	8.2
奈良県	*29	41.4	51.7	24.1	3.4	0.0	31.0	13.8	6.9

出典：公益財団法人 介護労働安定センター  
令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

介護関係の仕事を辞めた理由

(3) (1) の理由のうち、法人等の理念や運営のあり方に係る理由の詳細（複数回答）

◆全国では、「経営の効率性やリスクを過度に重視しているため、介護の質の向上の取り組みが二の次になっていた」が30.9%で最も多い

	回答労働者数	いた り組 み が 二 の 次 に な っ て 取	め、 介 護 の 質 の 向 上 の た 取	過 度 に 重 視 し て い る た 取	経 営 の 効 率 性 や リ ス ク を	異 な っ て い た	方 向 性 が 自 分 の 理 想 と は	介 護 の 質 の 向 上 の 手 法 は	い つ か な か っ た	の 職 員 の 体 制 や 処 遇 が 追 め	り、 そ れ を 遂 行 す る た め	介 護 の 理 想 を 追 い す ぎ て お	み の 理 想 を 追 い す ぎ て お	て の 提 案 を な か っ た	の 仕 事 の 仕 方 に 関 する 職 員	か っ た	業 務 量 負 担 へ の 配 慮 が 弱	無 駄 な 業 務 が 多 く 職 員 の	て く れ な か っ た	ス か ら 守 る 取 り 組 み を し	防 御 な ど、 職 員 を ス ト レ	用 者 や 家 族 か ら の 圧 力 の	職 場 の 雰 囲 気 の 改 善、 利	た 念 自 体 に 共 感 で き な か っ 理	(件、%)
全国	1,893	30.9				30.6			20.7			28.2					30.0			25.3					26.0
訪問介護員	260	26.2				31.5			19.6			31.5					28.5			29.2					22.3
介護職員	680	28.4				30.9			25.1			31.3					33.5			26.3					24.3
サービス提供責任者	204	32.8				27.0			22.5			21.1					24.0			21.1					30.9
生活相談員	141	30.5				27.7			20.6			22.7					26.2			22.7					31.2
看護職員	79	35.4				48.1			21.5			31.6					38.0			25.3					17.7
PT・OT・ST等	*20	40.0				20.0			15.0			40.0					30.0			35.0					25.0
介護支援専門員	383	35.5				29.0			13.8			25.6					29.0			23.2					27.7
奈良県	*25	24.0				24.0			24.0			32.0					44.0			28.0					12.0

出典：公益財団法人 介護労働安定センター  
令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

現在勤務している事業所と勤務状況について

(1) 今の事業所に就職した理由（複数回答）

◆全国では、「通勤が便利だから」が50.3%で最も多い

(件、%)

	回答労働者数	地元での評判が良いため	法人の方針や理念に共感したため	経営が健全で将来的に安定しているため	通勤が便利だから	賃金水準が比較的高いため	残業が少ない・有給休暇をとりやすい・シフトがきつくないため	介護の質が高いため	仕事の魅力ややりがいがあるため	職場の人間関係がよいから	事業所・施設の設備・環境が働きやすいから	ICT機器導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っているため	仕事と家庭（育児・介護）の両立の支援を充実させているため	職場内でのキャリアアップの道筋を明確化しているため	能力や仕事ぶりをしっかりと評価し、賃金などの処遇に反映しているため	社内外で研修を受講できる機会が充実しているため	理由は特にない
全国	20,699	5.7	14.8	11.8	<b>50.3</b>	15.7	27.3	7.3	32.6	31.4	14.1	2.6	16.7	8.3	12.3	9.4	7.8
訪問介護員	2,857	7.2	15.5	13.6	48.1	18.3	29.6	11.4	34.5	40.1	14.8	2.2	19.3	9.9	17.6	10.7	8.1
介護職員	8,340	5.3	11.8	10.2	54.8	14.1	25.1	6.7	29.4	28.8	12.8	1.6	13.4	7.0	9.9	7.6	8.2
サービス提供責任者	1,750	4.9	17.0	15.0	44.3	18.5	22.1	8.9	33.4	33.3	14.6	3.0	14.6	10.5	16.6	9.8	8.9
生活相談員	1,205	6.2	17.7	11.4	46.6	14.9	24.0	6.6	34.2	27.2	13.0	2.2	13.8	11.1	14.2	6.9	8.6
看護職員	2,240	5.1	17.4	11.0	53.1	17.6	30.8	6.3	41.7	34.6	13.6	4.0	26.5	6.6	10.4	9.9	4.2
PT・OT・ST等	451	7.5	24.2	14.4	41.7	22.6	35.3	4.9	40.1	31.5	16.4	3.1	16.0	9.3	13.7	9.5	6.0
介護支援専門員	2,418	6.4	17.5	13.5	44.4	13.5	33.3	6.4	29.6	29.2	17.4	5.2	19.2	8.4	11.0	14.9	7.7
奈良県	255	7.5	18.8	11.8	<b>55.7</b>	16.1	25.5	7.5	37.3	29.8	18.4	1.2	18.4	9.8	13.7	10.2	4.7

出典:公益財団法人 介護労働安定センター 令和5年度 介護労働実態調査

- 現在の法人に就職した理由として、「やりたい職種・仕事内容だから」、「資格・技能が活かせるから」、「通勤が便利」が上位となっている。一方「教育研修等の充実」、「福利厚生での充実」、「子育て支援の充実」「法人の方針や理念に共感したから」といった理由が下位となっている。

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

現在勤務している事業所と勤務状況について

(2) 今の職場への就職の経路・方法・媒体（複数回答）

◆全国では、「友人・知人からの紹介」が35.3%で最も多い

(件、%)

	回答労働者数	ハローワーク	福祉人材センター	学校・養成施設等での進路指導	民間の職業紹介	友人・知人からの紹介	求人・就職情報誌	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	求人情報サイト	法人又は施設・事業所のホームページ	法人又は施設・事業所が発信するSNS	説明会	就職セミナー、採用やボランティア	職場体験、職場実習	知っている施設・事業所を知った	介護職員の養成のための講座・研修を通して	施設・事業所からの働きかけ	行政広報誌（市報、区報等）
全国	20,699	20.1	1.2	3.4	3.2	<b>35.3</b>	3.5	5.2	8.1	2.0	0.1	1.2	1.0	2.0	3.2	0.6		
訪問介護員	2,857	15.8	0.9	1.5	2.0	45.0	3.2	4.8	7.4	1.6	0.0	0.6	0.5	3.9	3.0	0.8		
介護職員	8,340	23.6	1.4	5.4	2.8	31.0	4.1	6.3	8.1	1.6	0.1	1.6	1.6	1.9	2.6	0.5		
サービス提供責任者	1,750	15.0	0.8	2.3	2.3	41.7	3.6	5.1	7.0	1.3	0.0	1.5	0.5	3.9	3.8	0.8		
生活相談員	1,205	19.3	1.1	3.8	3.2	36.1	3.8	5.1	9.0	2.1	0.2	1.7	0.6	1.2	3.2	0.4		
看護職員	2,240	17.0	1.1	1.4	7.2	35.6	2.4	3.3	11.0	3.7	0.1	0.4	0.5	0.1	3.6	0.5		
PT・OT・ST等	451	14.4	1.3	6.2	6.7	32.8	3.8	1.8	15.5	4.4	0.0	1.3	1.3	0.0	2.7	0.2		
介護支援専門員	2,418	18.9	1.4	1.4	2.6	35.7	1.9	4.0	5.2	2.3	0.2	0.8	0.7	1.3	5.3	0.6		
奈良県	255	18.4	0.8	1.6	3.5	<b>36.1</b>	3.5	8.6	5.5	2.0	0.0	1.6	0.0	1.6	2.4	0.0		

出典:公益財団法人 介護労働安定センター 令和5年度 介護労働実態調査

- 在の職場に就職した経路・きっかけは、「友人・知人からの紹介」が35.3%で最も多く、続いて「ハローワーク」の20.1%、「求人情報サイト」の8.1%、「折込チラシ、新聞・雑誌の広告」の5.2%の順であった。

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

年齢層別、今の職場への就職の経路・方法・媒体（複数回答）

	回答労働者数	ハローワーク	福祉人材センター	学校・養成施設等での進路指導	民間の職業紹介	友人・知人からの紹介	求人・就職情報誌	折込チラシ、新聞・雑誌の広告	求人情報サイト	求人又は施設・事業所のホームページ	SNS	法人又は施設・事業所が発信するSNS	就職セミナー、採用説明会	職場体験、職場実習やボランティア	研修を通じて施設・事業所を知った	介護職員の養成のための講座・研修	施設・事業所からの就職の働きかけ	行政広報誌（市報、区報等）
全体	20,699	20.1	1.2	3.4	3.2	35.3	3.5	5.2	8.1	2.0	0.1	1.2	1.0	2.0	3.2	0.6		
年齢層別	20～24歳	369	9.2	0.5	24.1	3.0	22.8	4.1	0.5	14.1	1.9	0.0	6.5	5.4	0.5	1.1	0.0	
	25～29歳	905	14.7	2.1	11.3	5.6	27.2	2.9	1.3	16.1	2.2	0.3	5.0	2.8	0.3	1.3	0.3	
	30～34歳	1,356	18.1	1.4	7.4	4.4	31.7	3.6	2.1	14.0	2.1	0.1	3.6	1.7	0.8	1.8	0.1	
	35～39歳	2,143	21.8	1.2	6.0	3.8	32.1	4.0	3.1	10.4	2.7	0.0	1.1	1.9	1.3	2.5	0.3	
	40～44歳	2,653	22.1	1.4	3.7	3.7	34.2	3.3	4.3	8.4	2.4	0.2	0.9	1.0	1.3	2.9	0.6	
	45～49歳	3,137	21.5	1.3	3.0	3.6	34.8	3.7	5.2	7.9	2.3	0.0	1.0	0.8	1.6	3.1	0.6	
	50～54歳	3,008	20.0	1.2	1.4	3.5	37.0	3.6	6.7	7.7	2.2	0.1	0.4	0.6	2.1	3.0	0.8	
	55～59歳	2,547	19.7	0.9	0.8	2.3	37.7	3.3	7.6	7.0	1.6	0.1	0.3	0.5	3.5	3.9	0.6	
	60～64歳	2,051	20.6	0.9	0.7	1.9	38.8	3.2	7.7	4.3	1.2	0.1	0.5	0.2	3.4	4.1	0.8	
	65～69歳	1,107	21.0	0.8	0.3	1.6	41.1	2.4	5.6	2.1	0.9	0.0	0.5	0.3	2.7	5.5	0.8	
70～74歳	501	15.6	0.8	0.2	0.8	46.3	1.8	4.8	1.0	1.0	0.4	0.4	0.4	2.0	6.6	0.6		
75歳以上	158	5.1	0.0	0.0	2.5	44.9	4.4	6.3	0.6	1.3	0.0	0.0	1.3	1.9	7.6	1.3		
主な職種別	訪問介護員	2,857	15.8	0.9	1.5	2.0	45.0	3.2	4.8	7.4	1.6	0.0	0.6	0.5	3.9	3.0	0.8	
	介護職員	8,340	23.6	1.4	5.4	2.8	31.0	4.1	6.3	8.1	1.6	0.1	1.6	1.6	1.9	2.6	0.5	
	サービス提供責任者	1,750	15.0	0.8	2.3	2.3	41.7	3.6	5.1	7.0	1.3	0.0	1.5	0.5	3.9	3.8	0.8	
	生活相談員	1,205	19.3	1.1	3.8	3.2	36.1	3.8	5.1	9.0	2.1	0.2	1.7	0.6	1.2	3.2	0.4	
	看護職員	2,240	17.0	1.1	1.4	7.2	35.6	2.4	3.3	11.0	3.7	0.1	0.4	0.5	0.1	3.6	0.5	
	P・T・O・T・S・T等	451	14.4	1.3	6.2	6.7	32.8	3.8	1.8	15.5	4.4	0.0	1.3	1.3	0.0	2.7	0.2	
	介護支援専門員	2,418	18.9	1.4	1.4	2.6	35.7	1.9	4.0	5.2	2.3	0.2	0.8	0.7	1.3	5.3	0.6	

（注1）20歳未満はデータ数が少ないので非掲載。また、「その他」と無回答も非掲載。

（注2）網掛けセルは全体よりも5ポイント超上回るもの。斜線セルは全体よりも5ポイント超下回るもの。

- 就職のきっかけとして「友人・知人からの紹介」が全年齢層に有効であるが、とりわけ年齢層があがるにつれて回答が多くなっている
- 20代については、「友人・知人からの紹介」とあわせて「学校・養成施設等での進路指導」、「求人情報サイト」の数値が他の年代より高く、アナログ、デジタルあわせて就職活動していることがうかがえる。

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【介護労働者】

現在勤務している事業所と勤務状況について

(3) 1週間の残業時間数

◆全国では、「残業なし」は57.7%

	回答労働者数	残業なし	5時間未満	5~10時間	10~15時間	15時間以上	平均残業時間(時間)
全国	20,699	57.7	24.3	9.7	3.0	7.0	1.6
訪問介護員	2,857	67.6	17.3	7.1	2.2	0.6	1.2
介護職員	8,340	60.2	25.8	7.4	1.8	0.7	1.3
サービス提供責任者	1,750	47.3	27.5	14.6	4.9	1.7	2.3
生活相談員	1,205	42.1	26.1	19.0	6.2	2.7	2.9
看護職員	2,240	50.3	31.4	9.5	3.3	0.9	1.8
PT・OT・ST等	451	50.3	25.9	17.3	4.2	0.4	2.0
介護支援専門員	2,418	62.3	19.1	10.3	4.0	1.0	1.7
奈良県	255	54.1	25.5	11.8	2.4	7.2	1.8

現在勤務している事業所と勤務状況について

(4) 年次有給休暇の付与日数

◆全国では、付与日数「20日」が28.5%で最も多い

	回答労働者数	0日	1~4日	5~9日	10~12日	13~15日	16~19日	20日	平均新規付与日数
全国	20,699	5.3	7.5	6.3	22.8	6.6	5.0	28.5	14.6
訪問介護員	2,857	8.6	2.4	7.0	22.0	6.4	4.0	21.4	13.8
介護職員	8,340	4.6	1.5	7.6	22.6	6.5	5.0	27.4	14.4
サービス提供責任者	1,750	2.6	1.1	4.3	21.0	5.9	4.9	35.5	15.5
生活相談員	1,205	4.1	0.8	5.1	20.7	7.1	6.3	35.4	15.5
看護職員	2,240	6.7	1.4	6.4	26.7	7.4	5.1	26.6	14.3
PT・OT・ST等	451	4.7	1.6	4.4	34.1	7.8	8.2	23.9	14.0
介護支援専門員	2,418	5.9	1.1	4.3	21.4	6.3	5.4	33.9	15.4
奈良県	255	6.7	0.4	5.1	19.2	7.5	5.5	29.8	15.3

現在勤務している事業所と勤務状況について

(5) 有給休暇の取得状況

◆全国では、取得日数「5~9日」が38.4%で最も多く、平均取得日数は7.9日

	回答労働者数	0日	1~4日	5~9日	10~12日	13~15日	16~19日	20日	21日以上	平均取得(消化)日数(日)	平均取得(消化)率(%)	新規付与10日以上 の平均取得(消化)日数(日)
全国	14,637	6.2	16.1	38.4	19.5	6.7	3.3	5.1	0.9	7.9	53.7	8.3
訪問介護員	1,803	7.4	19.0	34.9	17.9	6.4	3.6	4.7	0.7	7.6	54.3	8.1
介護職員	5,894	5.9	16.1	41.1	18.7	5.8	3.0	4.8	1.1	7.8	53.7	8.2
サービス提供責任者	1,273	6.6	14.1	41.8	18.8	5.8	2.7	5.3	1.1	7.8	49.8	7.9
生活相談員	909	5.0	14.6	41.3	19.8	8.0	2.9	4.6	0.6	7.9	50.4	8.2
看護職員	1,650	6.1	16.4	33.8	22.5	8.2	3.8	5.2	0.5	8.2	57.1	8.7
PT・OT・ST等	361	3.3	16.3	40.2	21.9	6.4	5.5	3.0	0.6	7.9	56.2	8.3
介護支援専門員	1,751	6.6	15.2	34.2	20.6	8.0	4.1	7.4	0.7	8.5	54.6	8.8
奈良県	172	5.8	12.2	38.4	22.1	8.1	2.9	7.6	0.0	8.4	55.0	8.7

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

外国籍労働者について

(1) 外国籍労働者受入れ状況

◆ 受け入れている事業所について、全国では「在留資格「介護」（法人で直接受け入れ）」による受け入れが5.9%で最も多い

回答事業所数	在留資格「介護」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「介護」 (他法人からの転職)	EPA(経済連携協定)による受け入れ	EPA(経済連携協定)による受け入れ	EPA(経済連携協定)による受け入れ	在留資格「特定技能1号」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「特定技能1号」 (他法人からの転職)	技能実習生	留学生	(件、%)	
										介護の仕事と して左記の いずれも 外国籍 労働者 として 左記の いずれも 受 け 入 れ て い な い	割合
全国	8,990	5.9	1.1	0.9	0.1	4.9	1.2	4.8	1.4	82.5	
奈良県	107	4.7	0.9	3.7	0.0	8.4	0.9	6.5	3.7	81.3	

○法人格別、事業所規模別外国籍労働者の受け入れ状況（複数回答）

法人格別 事業所規模別 サービス系 型	回答事業所数	在留資格「介護」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「介護」 (他法人からの転職)	EPA(経済連携協定)による受け入れ	EPA(経済連携協定)による受け入れ	EPA(経済連携協定)による受け入れ	在留資格「特定技能1号」 (法人で直接受け入れ)	在留資格「特定技能1号」 (他法人からの転職)	技能実習生	留学生	介護の仕事と して左記の いずれも 受 け 入 れ て い な い	割合
全体	8,990	5.9	1.1	0.9	0.1	4.9	1.2	4.8	1.4	82.5	4.1	
法人格												
民間企業	5,504	4.8	1.0	0.3	0.1	3.3	0.8	3.3	0.7	84.8	4.5	
社会福祉協議会	350	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.1	0.3	94.0	3.1	
社会福祉法人	1,436	12.3	2.2	3.6	0.5	14.1	3.8	13.1	4.7	68.0	1.7	
医療法人	858	6.5	1.2	1.6	0.0	4.4	0.8	5.1	1.5	81.9	4.0	
事業所規模別												
4人以下	1,170	0.6	0.3	0.2	0.0	0.5	0.1	0.5	0.0	92.4	6.1	
5人～9人	2,055	2.3	0.3	0.2	0.0	0.9	0.1	0.9	0.5	91.2	4.7	
10人～19人	2,873	5.4	0.8	0.5	0.1	3.7	0.8	4.0	0.9	84.3	3.6	
20人～49人	1,924	8.3	1.5	0.9	0.2	7.4	1.5	7.3	2.0	77.5	2.5	
50人～99人	675	15.7	3.7	4.4	0.6	17.8	4.7	16.7	5.0	57.9	3.0	
100人以上	193	25.4	5.2	6.7	1.0	20.7	8.8	19.7	10.9	45.1	4.1	
サービス系型												
訪問系	2,461	3.1	0.9	0.1	0.0	0.5	0.3	0.5	0.5	90.5	4.5	
施設系(入所型)	1,192	15.9	2.9	4.5	0.7	16.7	4.9	16.6	6.0	60.6	1.0	
施設系(通所型)	2,603	3.6	0.5	0.3	0.0	2.5	0.4	3.1	0.6	88.6	3.0	
居住系	1,005	10.7	1.5	1.1	0.2	12.7	2.0	10.1	2.0	69.3	2.2	
居宅介護支援	722	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	93.2	6.1	

(注1) 法人格は主なものを掲載。

(注2) 網掛けセルは全体よりも5ポイント超上回るもの。斜線セルは全体よりも5ポイント超下回るもの。

出典：公益財団法人 介護労働安定センター 令和5年度 介護労働実態調査

# 奈良県の福祉・介護人材の現状【事業所】

## (2) 外国籍労働者の今後の活用方針

### ○現在受け入れている事業所

(件、%)

	回答事業所数	今後、新たな受け入れはしない予定	現在の外国籍労働者数の水準を補充する程度	積極的に受け入れたい
全国	1,205	14.8	47.2	34.9
奈良県	*16	0.0	50.0	43.8

### ○現在受け入っていない事業所

## ○属性別外国籍労働者をすでに受け入れている事業所の今後の受け入れ方針

(単位：件、%)		回答事業所数	積極的に受け入れを拡大	現在の水準を補充する程度の受け入れ	新たな受け入れはしない
全体		1,205	34.9	47.2	14.8
法人格	民間企業	585	33.5	45.8	16.9
	社会福祉法人	434	37.6	47.5	12.9
	医療法人	121	33.1	54.5	9.1
サービス系	訪問系	123	35.0	45.5	17.1
	施設系（入所型）	458	36.5	50.2	11.1
	施設系（通所型）	218	32.6	45.0	20.2
事業所規模別	居住系	287	33.8	49.1	15.0
	5人～9人	83	38.6	41.0	19.3
	10人～19人	348	31.6	49.1	14.9
	20人～49人	385	33.2	46.5	17.1
	50人～99人	264	35.6	51.1	11.7
100人以上	98	46.9	42.9	8.2	

(注1) 無回答は非掲載。また、法人格、サービス系、事業所規模とは主なもののみを掲載。

(注2) 網掛けセルは全体よりも5ポイント超上回るもの。斜線セルは全体よりも5ポイント超下回るもの。

## ○属性別外国籍労働者をまだ受け入っていない事業所の今後の受け入れ方針

(単位：件、%)		回答事業所数	今後、受け入れを検討してみたい	受け入れたいが、どういう手続きを進めれば受け入れられるかわからない	今後も受け入れようとは思わない
全体		7,416	31.4	7.8	57.6
法人格	民間企業	4,669	30.0	8.6	58.0
	社会福祉協議会	329	30.4	7.0	58.7
	社会福祉法人	977	44.3	5.5	47.6
	医療法人	703	30.2	5.7	60.6
サービス系	訪問系	2,228	26.4	9.0	61.8
	施設系（入所型）	722	48.6	5.5	43.1
	施設系（通所型）	2,307	33.3	8.2	55.4
	居住系	696	45.5	7.2	44.8
事業所規模別	居宅介護支援	673	8.2	4.6	82.3
	4人以下	1,081	12.2	5.1	78.0
	5人～9人	1,875	25.5	9.2	62.8
	10人～19人	2,423	35.2	8.0	53.3
	20人～49人	1,491	40.9	7.7	48.4
50人～99人	391	48.3	6.9	41.9	
100人以上	87	56.3	3.4	37.9	

(注1) 無回答は非掲載。また、法人格は主なもののみを掲載。

(注2) 網掛けセルは全体よりも5ポイント超上回るもの。斜線セルは全体よりも5ポイント超下回るもの。

# 外国籍労働者の受入状況(サービス事業所)

## 1. 外国人労働者の受入状況

(〇は1つ)

	回答者数	すでに受け入れて	受け入れていない	無回答
上段:実数、下段:%				
全体	1054	160 15.2	872 82.7	22 2.1
奈良保健医療圏	288	41 14.2	242 84.0	5 1.7
西和保健医療圏	274	43 15.7	221 80.7	10 3.6
東和保健医療圏	167	23 13.8	141 84.4	3 1.8
中和保健医療圏	233	43 18.5	189 81.1	1 0.4
南和保健医療圏	82	9 11.0	72 87.8	1 1.2

## 2. 外国人労働者を受け入れた結果での課題

(〇は主なもの1つ)

	回答者数	が受入れに 進まない	の受入れに 対する理解が 進まない	の受入れに 対する利用者や その家族の理解が 進まない	の文化や習慣の 違いを理解する のが難しい	のコミュニケーション を図るのが難しい	生活支援が大変である	定着率が低い	その他	特に課題はない	無回答
上段:実数、下段:%											
全体	160	6 3.8	3 1.9	39 24.4	55 34.4	12 7.5	3 1.9	6 3.8	33 20.6	3 1.9	
奈良保健医療圏	41	2 4.9	0 0.0	12 29.3	11 26.8	4 9.8	0 0.0	0 0.0	10 24.4	2 4.9	
西和保健医療圏	43	1 2.3	0 0.0	9 20.9	21 48.8	1 2.3	1 2.3	2 4.7	8 18.6	0 0.0	
東和保健医療圏	23	0 0.0	1 4.3	4 17.4	9 39.1	2 8.7	0 0.0	0 0.0	6 26.1	1 4.3	
中和保健医療圏	43	3 7.0	2 4.7	12 27.9	11 25.6	3 7.0	2 4.7	4 9.3	6 14.0	0 0.0	
南和保健医療圏	9	0 0.0	0 0.0	2 22.2	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	

出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書（資料編）

# 外国籍労働者の受入状況(サービス事業所)

## 3. 外国人労働者の受け入れへの考え

(〇は1つ)

	回答者数	た 積 極 的 に 受 け 入 れ たい	受 入 れ たい か い え ば	ど ち ら だ も な い	受 け 入 れ た く い え ば	受 け 入 れ た く い え ば	無 回 答
上段:実数、下段:%							
全体	872	53 6.1	112 12.8	447 51.3	147 16.9	91 10.4	22 2.5
奈良保健医療圏	242	12 5.0	22 9.1	134 55.4	43 17.8	23 9.5	8 3.3
西和保健医療圏	221	13 5.9	32 14.5	114 51.6	43 19.5	16 7.2	3 1.4
東和保健医療圏	141	10 7.1	19 13.5	64 45.4	25 17.7	17 12.1	6 4.3
中和保健医療圏	189	11 5.8	24 12.7	95 50.3	29 15.3	25 13.2	5 2.6
南和保健医療圏	72	6 8.3	14 19.4	37 51.4	5 6.9	10 13.9	0 0.0

## 4. 外国人労働者を受け入れたくない理由

(〇は主なもの1つ)

	回答者数	受 入 れ に 対 す る 職 員 の 理 解 が 進 ま な い	受 入 れ に 対 す る 利 用 者 や そ の 家 族 の 理 解 が 進 ま な い	受 入 れ に 対 す る 文 化 や 習 慣 の 違 い を 理 解 す る の が 難 し い	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 図 る の が 難 し い	生 活 支 援 が 大 変 で あ る	定 着 率 が 低 い	そ の 他	特 に 課 題 は な い	無 回 答
上段:実数、下段:%										
全体	238	11 4.6	87 36.6	41 17.2	44 18.5	14 5.9	1 0.4	28 11.8	8 3.4	4 1.7
奈良保健医療圏	66	3 4.5	24 36.4	12 18.2	13 19.7	1 1.5	0 0.0	10 15.2	2 3.0	1 1.5
西和保健医療圏	59	0 0.0	19 32.2	11 18.6	14 23.7	6 10.2	0 0.0	8 13.6	1 1.7	0 0.0
東和保健医療圏	42	4 9.5	16 38.1	8 19.0	7 16.7	3 7.1	1 2.4	1 2.4	1 2.4	1 2.4
中和保健医療圏	54	4 7.4	22 40.7	9 16.7	7 13.0	2 3.7	0 0.0	5 9.3	3 5.6	2 3.7
南和保健医療圏	15	0 0.0	5 33.3	1 6.7	3 20.0	1 6.7	0 0.0	4 26.7	1 6.7	0 0.0

出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書（資料編）

# 外国籍労働者の受入状況(サービス従事者)

## 1. 外国人労働者の受入状況

(〇は1つ)

	回答者数	すでに受け入れて	受け入れていない	無回答
上段:実数、下段:%				
全体	1907	484 25.4	1379 72.3	44 2.3
奈良保健医療圏	529	112 21.2	403 76.2	14 2.6
西和保健医療圏	474	136 28.7	330 69.6	8 1.7
東和保健医療圏	293	84 28.7	204 69.6	5 1.7
中和保健医療圏	439	107 24.4	323 73.6	9 2.1
南和保健医療圏	142	40 28.2	98 69.0	4 2.8

## 2. 外国人労働者の受入による課題

(〇は主なもの1つ)

	回答者数	進まない	受入れに対する職員の理解が進まない	受入れに対する利用者やその家族の理解が進まない	文化や習慣の違いを理解するのが難しい	コミュニケーションを図るのが難しい	生活支援が大変である	定着率が低い	特に課題はない	その他	無回答
上段:実数、下段:%											
全体	484	15 3.1	14 2.9	79 16.3	128 26.4	24 5.0	20 4.1	135 27.9	49 10.1	20 4.1	
奈良保健医療圏	112	3 2.7	3 2.7	20 17.9	29 25.9	5 4.5	1 0.9	30 26.8	18 16.1	3 2.7	
西和保健医療圏	136	5 3.7	2 1.5	25 18.4	32 23.5	3 2.2	7 5.1	36 26.5	17 12.5	9 6.6	
東和保健医療圏	84	3 3.6	6 7.1	16 19.0	25 29.8	4 4.8	3 3.6	19 22.6	6 7.1	2 2.4	
中和保健医療圏	107	2 1.9	3 2.8	12 11.2	29 27.1	6 5.6	8 7.5	38 35.5	5 4.7	4 3.7	
南和保健医療圏	40	2 5.0	0 0.0	5 12.5	12 30.0	6 15.0	1 2.5	10 25.0	2 5.0	2 5.0	

出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書（資料編）

# 外国籍労働者の受入状況(サービス従事者)

## 3. 介護人材不足解消のための外国人労働者の受け入れ賛否

(〇は1つ)

	回答者数	進めるべきである	どちらでもない	進めるべきでない	わからない	無回答
上段:実数、下段:%						
全体	1379	317 23.0	604 43.8	116 8.4	319 23.1	23 1.7
奈良保健医療圏	403	93 23.1	179 44.4	36 8.9	91 22.6	4 1.0
西和保健医療圏	330	68 20.6	151 45.8	31 9.4	77 23.3	3 0.9
東和保健医療圏	204	60 29.4	81 39.7	10 4.9	51 25.0	2 1.0
中和保健医療圏	323	68 21.1	146 45.2	28 8.7	72 22.3	9 2.8
南和保健医療圏	98	26 26.5	37 37.8	9 9.2	24 24.5	2 2.0

## 4. 外国人労働者の受け入れを進めるべきではないと思う理由

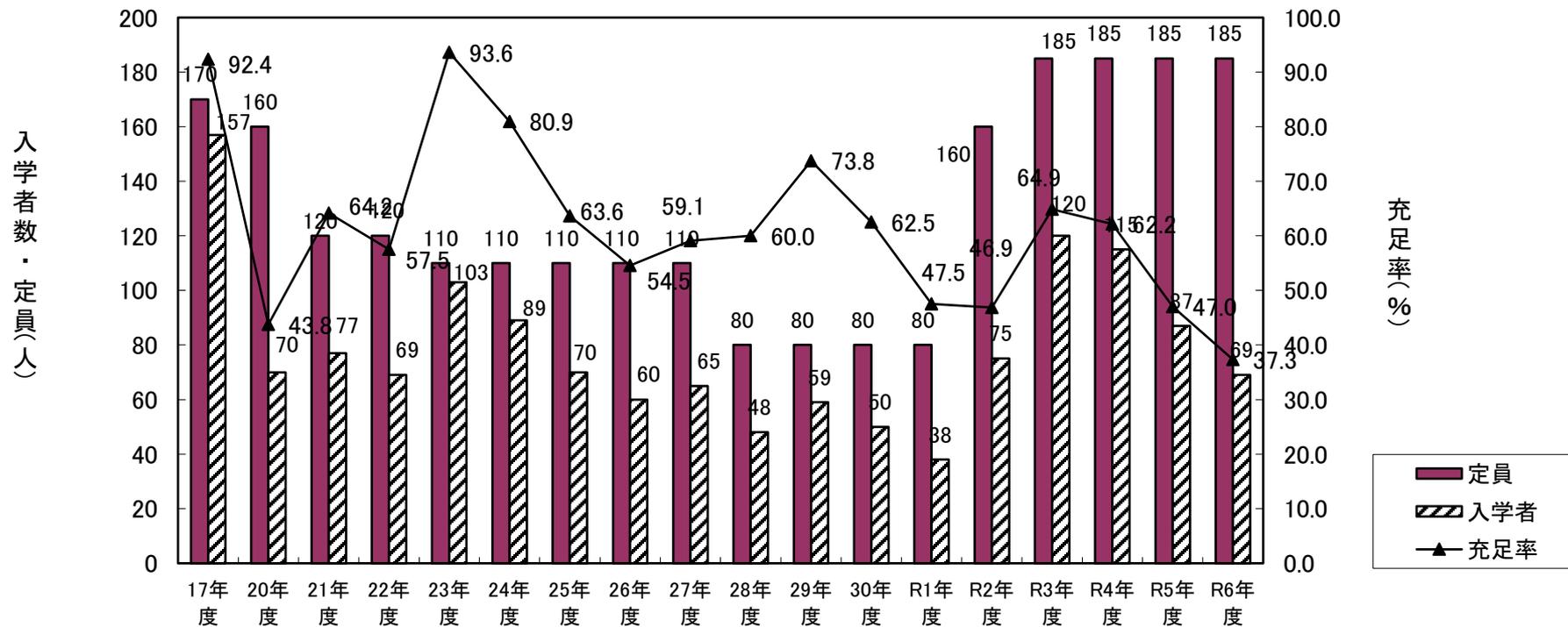
(〇は主なもの1つ)

	回答者数	まな 受入 入れ れに 対す る職 員の 理解 が進 まな いと思 うから	受入 れに 対す る利 用者 やそ の家 族の 理解 が進 まな いと思 うから	が文 化や 習慣 の違 いを 理解 する のが 難し いと思 うから	コ ミュ ニケ ーシ ョン を 図る のが 難し いと思 うから	ら生 活支 援が 大変 である と思 うか	定着 率が 低い と思 うから	そ の他	無 回 答
上段:実数、下段:%									
全体	116	4 3.4	26 22.4	40 34.5	22 19.0	1 0.9	5 4.3	18 15.5	0 0.0
奈良保健医療圏	36	2 5.6	6 16.7	10 27.8	11 30.6	1 2.8	1 2.8	5 13.9	0 0.0
西和保健医療圏	31	0 0.0	6 19.4	12 38.7	6 19.4	0 0.0	1 3.2	6 19.4	0 0.0
東和保健医療圏	10	0 0.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
中和保健医療圏	28	1 3.6	7 25.0	12 42.9	2 7.1	0 0.0	1 3.6	5 17.9	0 0.0
南和保健医療圏	9	0 0.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0

出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書（資料編）

# 介護福祉士養成施設の状況

## 介護福祉養成校の状況



※定員・入学者数は以下の県内養成校の合計者数

平成12年度 5校 奈良佐保短期大学、関西学研医療福祉学院、奈良文化女子短期大学

奈良福祉専門学校、関西国際社会福祉専門学校

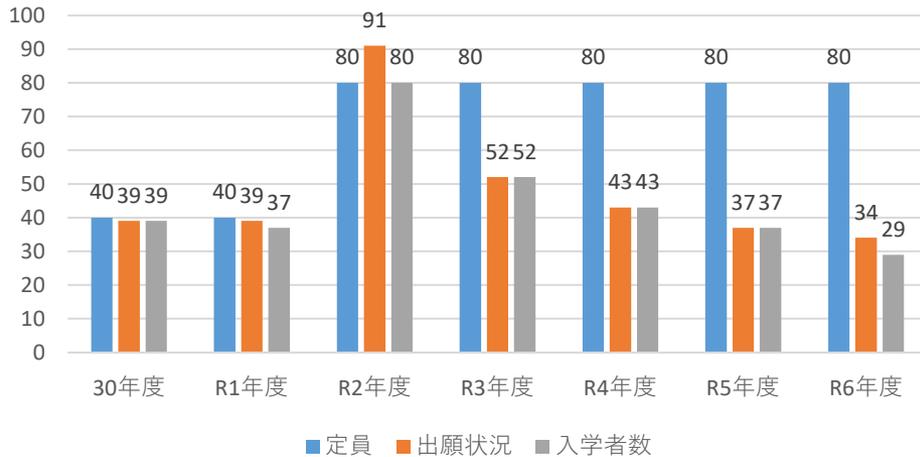
平成17～R1年度 2校 奈良佐保短期大学、関西学研医療福祉学院(青丹学院)

R2年度 3校 奈良佐保短期大学、関西学研医療福祉学院(青丹学院)、奈良介護福祉中央学院

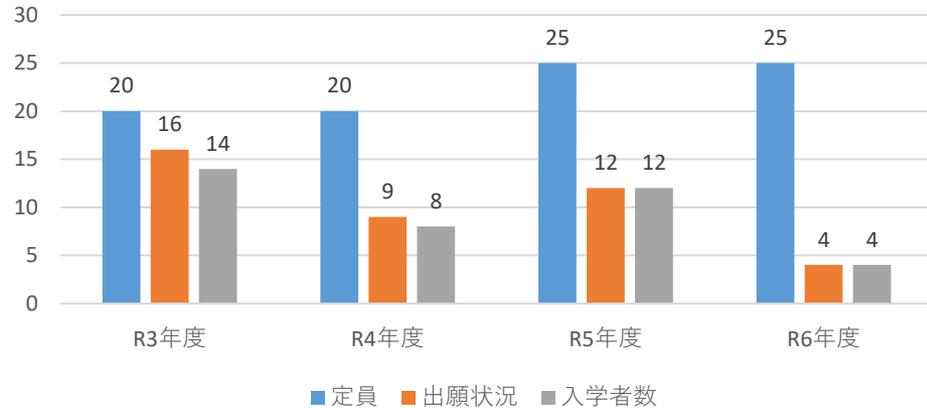
R3年度～ 4校 奈良佐保短期大学、関西学研医療福祉学院(青丹学院)、奈良介護福祉中央学院  
奈良ひびき福祉専門学校

# 榛生昇陽高等学校の状況

宇陀高等学校（こども・福祉科） 定員・入学状況



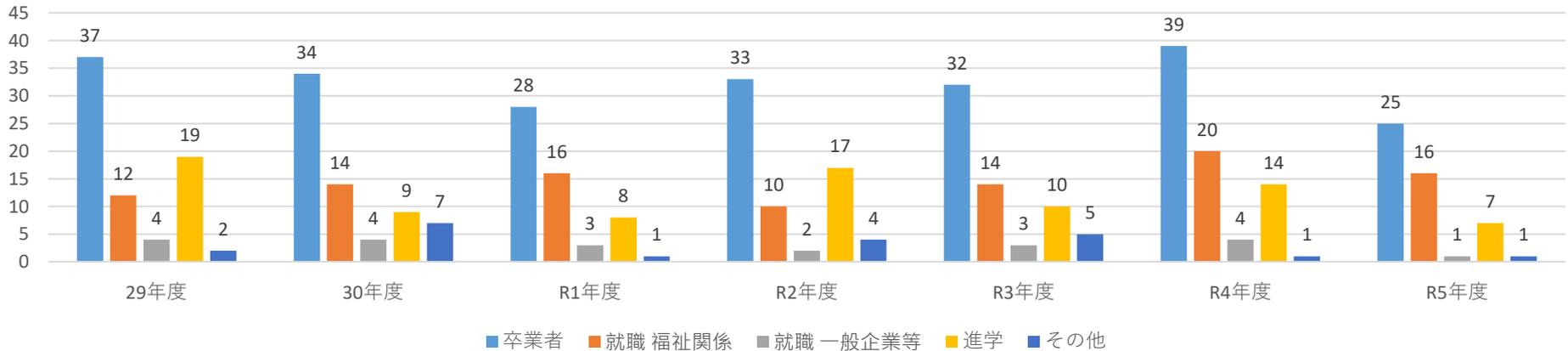
宇陀高等学校・榛生昇陽高校（専攻科介護福祉科）  
定員・入学状況



※令和4年度入学者のうち介護系列に進級したのは18人  
令和5年度入学者のうち介護系列に進級したのは14人

就職状況（宇陀高校こども・福祉学科介護系列）

※R5までは榛生昇陽高校こども福祉学科の卒業者数



# 介護福祉士修学資金貸付事業における貸付対象

	定員	在学学生 ※1				卒業生（累計）※2		総合計
		1年次（R5年度～）		2年次（R4年度～）		外国人	日本人	
		外国人	日本人	外国人	日本人			
関西学研医療福祉学院	40	0	7	0	7	0	103	117
佐保短期大学	40	0	1	1	0	10	32	44
奈良介護福祉中央学院	80	57	0	66	0	86	0	209
奈良ひびき福祉専門学校	25	4	0	3	1	0	2	10

※1 途中退学者等は除く。

※2 修学期間内に貸し付けた総人数。

## ◆福祉系高校修学資金貸付事業について

### 【福祉科（介護系列）】※1

	定員	在学学生 ※2				卒業生（累計）※3		総合計
		2年次（R5年度～）		3年次（R4年度～）		外国人	日本人	
		外国人	日本人	外国人	日本人			
宇陀高校（福祉科 介護系列）	40	0	1					1
榛生昇陽高校（子ども・福祉科）	40			0	7	0	11	18

※1 貸付対象となるのは、専門課程ごとに分かれる2年次からとなる。

※2 途中退学者等は除く。

※3 修学期間内に貸し付けた総人数。

### 【専攻科】※1

	定員	在学学生 ※2				卒業生（累計）※3		総合計
		2年次（R5年度～）		3年次（R4年度～）		外国人	日本人	
		外国人	日本人	外国人	日本人			
宇陀高校	20	4	2	1	0			7
榛生昇陽高校	20					2	0	2

※1 高校を卒業した者、在留資格「介護」を有する者等が入学対象者。

※2 途中退学者等は除く。

※3 修学期間内に貸し付けた総人数。

# 介護現場への先進技術の導入について

介護現場への先進技術の導入状況【サービス事業所】 先進技術の導入による課題【サービス事業所】

(○は1つ)

	回答者数	すでに導入している	導入していない	無回答
上段:実数、下段:%				
全体	1054	245 23.2	791 75.0	18 1.7
奈良保健医療圏	288	59 20.5	226 78.5	3 1.0
西和保健医療圏	274	81 29.6	185 67.5	8 2.9
東和保健医療圏	167	29 17.4	136 81.4	2 1.2
中和保健医療圏	233	56 24.0	174 74.7	3 1.3
南和保健医療圏	82	18 22.0	64 78.0	0 0.0

(○は主なもの1つ)

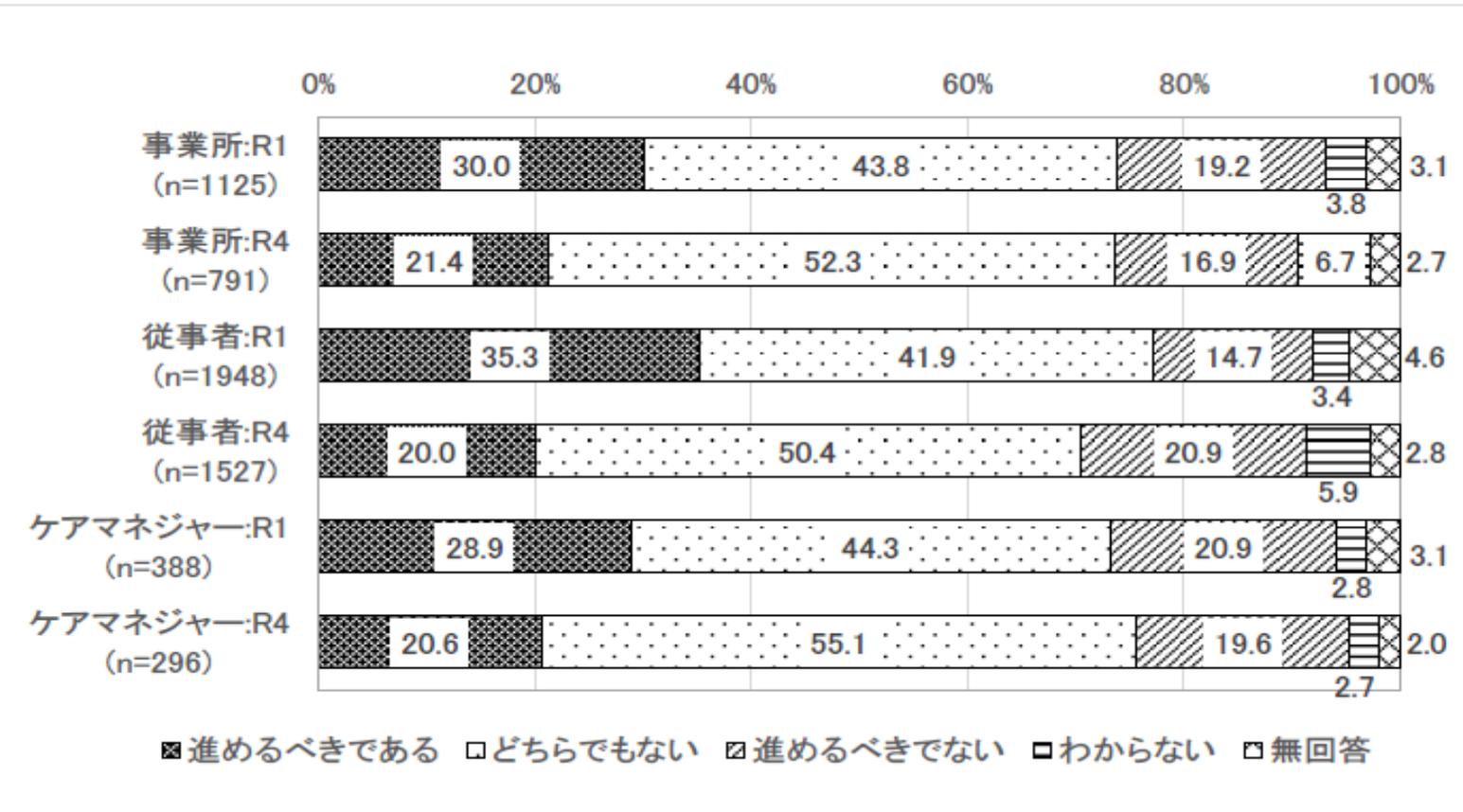
	回答者数	実用的でない	操作方法が難しく、	理解が得られない	利用者やその家族の	維持費が高い	業務軽減に結びついていない	ケアの質が下がった	その他	特に課題はない	無回答
上段:実数、下段:%											
全体	245	30 12.2	2 0.8	36 14.7	47 19.2	1 0.4	30 12.2	95 38.8	4 1.6		
奈良保健医療圏	59	4 6.8	1 1.7	7 11.9	9 15.3	0 0.0	8 13.6	29 49.2	1 1.7		
西和保健医療圏	81	10 12.3	1 1.2	17 21.0	8 9.9	1 1.2	17 21.0	26 32.1	1 1.2		
東和保健医療圏	29	2 6.9	0 0.0	2 6.9	14 48.3	0 0.0	0 0.0	10 34.5	1 3.4		
中和保健医療圏	56	7 12.5	0 0.0	7 12.5	9 16.1	0 0.0	5 8.9	27 48.2	1 1.8		
南和保健医療圏	18	7 38.9	0 0.0	3 16.7	5 27.8	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0		

出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書（資料編）

- 介護現場への先進技術の導入については、75%では導入されていない。
- 先進技術の導入済みであっても、「業務軽減に結びついていない」、「操作方法が難しく、実用的でない」という課題を持っている事業所が合計3割近くある。

# 介護現場での先進技術の導入に対する考え

## 介護現場での先進技術の導入に対する考え

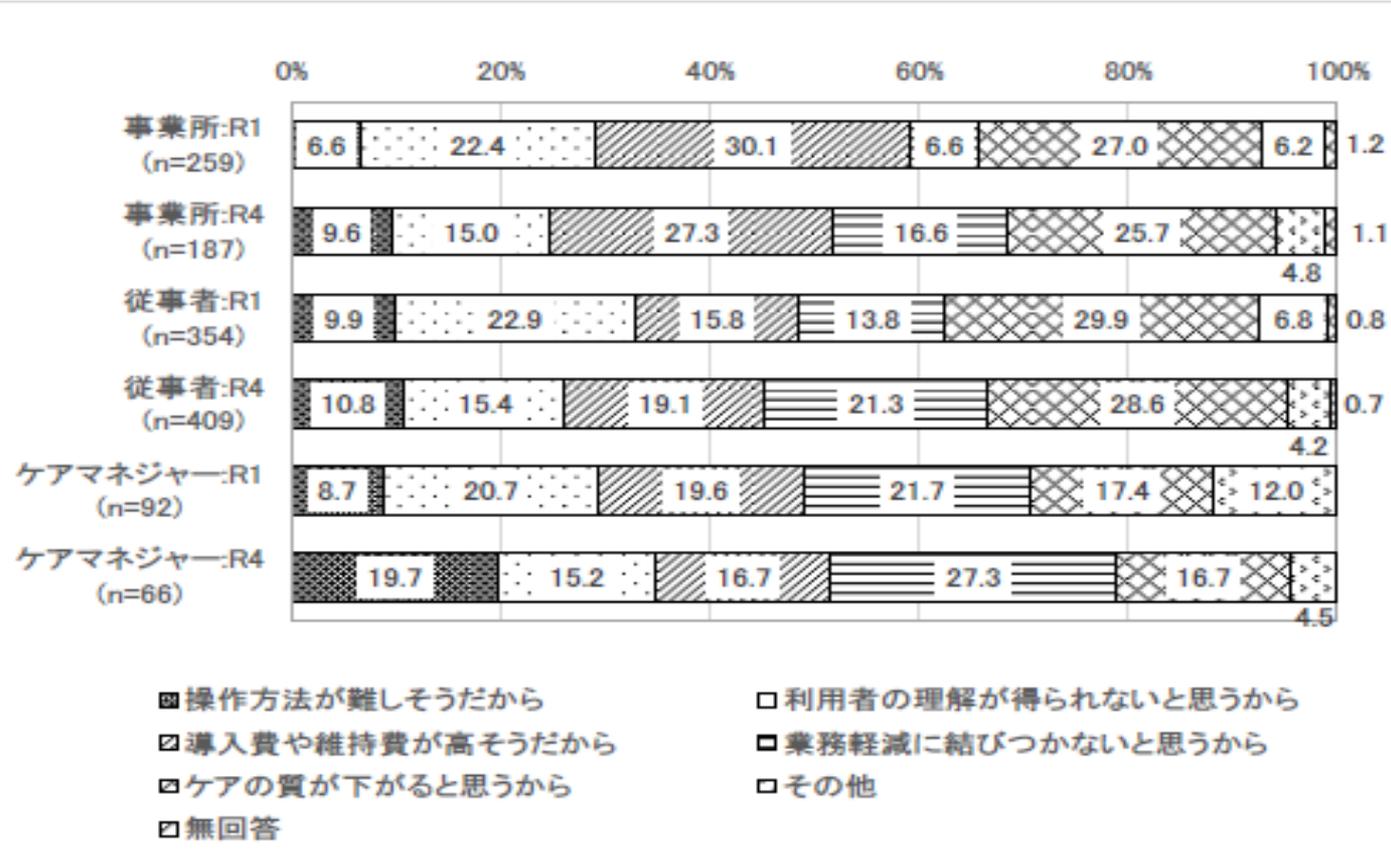


出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書

- 介護の現場で、先進技術を用いた機械（介護ロボット、ICT機器）等の導入が勧めることについての考えは、事業所、従事者、ケアマネジャーともに「どちらでもない」が過半数を占めている中で、「進めるべきである」は事業所で21.4%、従事者で20.0%、ケアマネジャーで20.6%、「進めるべきでない」は事業所で16.9%、従事者で20.9%、ケアマネジャーで19.6%と拮抗している。事業所と従事者の結果を比較すると、「進めるべきでない」は事業所よりも従事者で有意に高くなっている。

# 介護現場での先進技術の導入に対する考え

先進技術の導入を進めるべきではない理由



出所：奈良県 高齢者の生活・介護等に関する県民調査 調査結果報告書

➤ 先進技術の導入を「進めるべきではない」または「わからない」と回答した事業所、従事者、ケアマネジャーに対して、その理由を尋ねたところ、理由の上位3位は、事業所では「導入費や維持費が高そうだから」(27.3%)、「ケアの質が下がると思うから」(25.7%)、「業務軽減に結びつかないと思うから」(16.6%)、従事者では「ケアの質が下がると思うから」(28.6%)、「業務軽減に結びつかないと思うから」(21.3%)、「導入費や維持費が高そうだから」(19.1%)、ケアマネジャーでは「業務軽減に結びつかないと思うから」(27.3%)、「操作 방법이難しそうだから」(19.7%)、「導入費や維持費が高そうだから」「ケアの質が下がると思うから」(各16.7%)となっています。

# ICT機器の活用状況について

## 介護ロボット、ICT機器等の導入・利用状況（日常的に利用しているも

(件、%)

回答事業所数	パソコンによって利用する介護ソフト							介護業務用のアプリが入ったタブレット端末・スマートフォン			施設の居室内に設置する見守りセンサー			
	保存・転記の機能	利用者の情報への入力	相談を行うためのツール	職員間の報告・連絡	給与計算・配車管理	シフト管理・勤怠管理	給食管理	入力した音声を変換する機能	利用した音声を変換する機能	入力した音声を変換する機能	他の職員との間で業務連絡できる機能	型・内蔵型)	カメラ型センサー	メアラ型センサー
全国	8,990	66.2	32.5	40.2	7.7	4.0	18.9	43.3	10.5	31.2	19.7	5.0	11.4	
訪問系	2,461	65.7	39.5	45.6	9.7	3.0	17.8	46.3	13.0	41.4	6.5	1.9	3.1	
施設系(入所型)	1,192	80.7	39.4	49.7	5.9	9.6	27.4	50.6	8.1	29.4	67.4	12.4	26.5	
施設系(通所型)	2,603	63.1	27.5	33.7	5.6	2.8	19.6	39.1	7.5	24.5	10.8	4.6	8.5	
居住系	1,005	58.7	25.0	39.6	7.3	5.0	20.2	41.6	10.7	28.0	38.5	8.7	30.8	
居宅介護支援	722	77.8	30.9	32.4	12.6	2.1	14.8	43.8	17.7	32.8	0.6	0.3	0.3	
奈良県	107	62.6	27.1	38.3	6.5	1.9	21.5	37.4	7.5	28.0	15.0	4.7	8.4	

回答事業所数	その他のICT機器等			介護ロボット						
	施設内の無線ネットワークカメラ	施設内のWiFi機器	施設内の通信設備	移動支援する介護ロボット	利用者の移動を支援する介護ロボット	排泄を支援する介護ロボット	利用者との間で双方向コミュニケーションをとる介護ロボット	利用者の間に設置し、利用者の倒等の異常を感じた際に通報する介護ロボット	利用者に設置し、利用者の移動を支援する介護ロボット	入浴を支援する介護ロボット
全国	8,990	25.3	4.5	50.6	1.4	1.2	0.2	0.3	0.4	2.2
訪問系	2,461	12.6	2.8	42.4	0.5	0.2	0.0	0.0	0.1	0.5
施設系(入所型)	1,192	55.8	9.5	65.4	6.8	5.3	1.0	1.1	1.6	7.6
施設系(通所型)	2,603	26.8	4.5	54.2	0.5	0.7	0.2	0.3	0.0	1.8
居住系	1,005	37.4	5.3	57.1	1.1	1.3	0.0	0.5	1.2	2.5
居宅介護支援	722	1.4	1.7	42.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
奈良県	107	27.1	5.6	43.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)回答は問17①で「日常的に利用している」と回答した事業所の割合

出所：介護労働安定センター（奈良版）「令和5年度介護労働実態調査結果」

# ICT機器の活用状況について

## 介護ロボット、ICT機器等の導入効果

(件、%)

	回答事業所数	昼間の業務負担の軽減	夜間の業務負担の軽減	勤務時間（残業など）の短縮	業務の活性化	介護の質の向上
全国	7,761	32.7	22.2	23.4	24.7	20.8
訪問系	2,052	27.9	16.2	24.3	23.9	17.2
施設系(入所型)	1,150	51.4	47.6	29.9	33.8	36.4
施設系(通所型)	2,216	29.6	10.8	21.3	22.4	17.9
居住系	916	34.6	33.3	21.8	23.9	23.7
居宅介護支援	627	33.7	9.3	27.1	26.8	17.4
奈良県	85	28.2	22.2	21.2	21.2	20.0

(注1)値は「効果があった」「やや効果があった」の割合の合計

(注2)集計対象は、問17①で導入している機器・機能が1つでもあると回答した事業所

(注3)「夜間の業務負担の軽減」は全回答者から「夜間業務がない」を差し引いた値を元に集計

## 介護ロボット、ICT機器等の導入における業務改善

(件、%)

	回答事業所数	事業所内で介護ロボット・ICT機器等の導入の推進体制（責任者やプロジェクトチーム）を整備した	介護ロボット・ICT機器等を活用した業務に関する職員の意識改革を図った	4S運動（整理・整頓・清掃・清潔）を徹底した	各職員の業務分担を明確化した	特定の業務を専門的に行う担当者を設けた	業務を全員が同じようにできるよう少しずつ分担した	適材適所で各職員ごとに担当業務を見直した	介護業務以外の周辺業務を介護助手や外部業者に任せた	ムダな業務や手順を洗い出して廃止・簡素化した	業務の手順・流れ（オペレーション）自体の見直しを行った	介護ロボット・ICT機器等の導入当初は効果が出なかったが効果が出るまで取り組んだ	職員体制や業務自体の見直しは特に図っていない	貴事業所では介護ロボット・ICT機器等は導入していない
全国	8,990	9.0	18.1	9.9	16.3	7.0	15.9	13.7	5.3	20.3	14.3	2.8	11.3	30.8
訪問系	2,461	7.8	15.6	8.7	15.0	6.9	15.1	13.4	3.6	18.5	11.8	2.1	10.5	33.8
施設系(入所型)	1,192	19.8	35.6	11.8	18.0	8.8	17.4	15.4	14.8	24.6	21.5	5.5	13.0	16.0
施設系(通所型)	2,603	7.1	15.6	10.6	19.1	7.5	18.9	15.3	3.9	21.1	15.3	2.4	9.4	34.5
居住系	1,005	9.5	21.1	10.6	16.4	6.9	17.0	13.5	6.3	25.2	18.8	3.8	9.9	29.1
居宅介護支援	722	5.5	11.4	5.0	6.9	2.6	6.6	6.0	1.2	12.9	6.2	1.5	24.1	32.4
奈良県	107	7.5	9.3	10.3	14.0	8.4	17.8	12.1	5.6	18.7	16.8	0.9	6.5	37.4

出所：介護労働安定センター（奈良版）「令和5年度介護労働実態調査結果」